実験実施計画書

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業(団体)名 | SORA Technology株式会社 | | | | | | |
| 実験名 | 固定翼ドローンの実証 | | | | | | |
| 実験の趣旨 | 固定翼ドローンを、自動及びラジコンによる手動操縦によって飛行させることにより、各種挙動の安定性の確認、並びに改善点を探る。また、投下物を機体に載せ離陸し、フライト中にパラシュートをつけた投下物を落下させることを行う。 | | | | | | |
| 実験日時 | 2021/10/30~10/31, 11/6~7(予備日) | | | | | | |
| 実験時間 | 10-16 (日中の時間で天候状況に応じ対応) | | | | | | |
| 実験実施区域 | 南相馬フライングクラブ片倉飛行場  (〒975-0058 福島県南相馬市原町区片倉八重米坂１７) | | | | | | |
| 現場責任者 | 所属 | | SORA Technology株式会社 | | | | |
| 氏名 | | 金子　洋介 | | 電話 | | 090-5341-0631 |
| 使用機種 | 固定翼型ドローン  寸 法1.0m×1.5×0.3m | | | | | | |
| 保険加入状況 | 保険内容 | 対人 | | 1億円／事故 | | 対物 | あいおいニッセイ 同和損害保険（株） 1億円／事故 |
| 保険期間 | 2021/4/1~2022/3/31 | | | | | |
| 実験の詳細・安全管理体制 | 概要：事前に充電された固定翼ドローンを、現地にて組立後、自動及びラジコンによる手動操縦によって飛行させる。  ルート：直進、もしくは操縦者を中心に周回する形式を想定しており、また、安全上の観点から、目視内・電波範囲内で実証を行う。  離陸方法：カタパルト、または滑走(5-10ｍ程度)  着陸方法：機体用パラシュートによる降下、または滑走  ※飛行中に機体故障等、緊急の問題が発生した場合に備え、機体用パラシュートによる軟着陸が可能な形に機体を整備する。  投下物を機体に載せ離陸し、フライト中にパラシュートをつけた投下物を落下することを行う。   投下物：寸法20cm×15cm×10cmの重量1kg以下の物。  投下実験の検証内容  フライト中にパラシュートをつけた投下物を指定の場所に落下させる検証。  落下後の投下物の衝撃確認と把握を行う。  投下目的：  フライト中にパラシュートをつけた投下物を指定の場所に落とせるかの確認  落下後の投下物にどのくらい衝撃が加わるかを確認・把握するため。  投下方法：周りの安全を確認し、目視内での範囲内で投下物の落下位置を指定。目視内で周りに誰もいないことを確認し、フライト中にパラシュートを付けた投下物を落下指定位置に落下させる。  安全管理の側面から、現場人員配置において、現場責任者(金子)、操縦者(長谷川)に加えて、二名の安全対策要員(梅田、山田)を設置し、ドローン飛行時・パラシュート落下時等における実験実施区域周辺の安全確保を重視する。 | | | | | | |
| 添付資料 | ・実験参加者名簿  ・実験実施予定範囲 | | | | | | |